

東京ボランティアセンター・市民活動センターでは現在市民学習推進の一環として、各地域のボランティアセンターと連携し、主に小中学校における総合的な学習の時間の支援を行っています。その他、地域と連携した、都市災害に対する図上訓練等にも積極的に取り組んでいます。夏休みのボランティアキャンペーンには高校生も参加しています。

防災・災害救助のボランティア活動

「例えば自主防災組織に入って街歩きをすることが挙げられます。民生委員や町会等にも加わっていただくとなおいいと思います。特に高齢者や一人暮らしの方、障害者の方や妊婦・幼児のいる家庭の場所や状況を事前にチェックしておきます。災害時に、安否の確認ができるようにするためです。これらの情報は、普段でにくい情報なのでボランティアが歩いて、情報を把握してくることが大切です。各地域でボランティアセンターと連携して、危機管理が図ればいいですね。」

活動後の気付きも大切に

「清掃活動などはすぐできます。大切なのは、誰に対してやっているか、何のためにやっているか、やってみてどんなことに気付いた

かということです。振り返ることで地域の中の問題が見えてきます。例えば、清掃活動からゴミの問題に気付き、探っていく中で自分は何かできるか考え取り組む等ということです。実際にそのためのプログラムをいろいろ試みてきました。」

ボランティアと学校

「ボランティアで大切なのは、きっかけは何でもいいので、自分で気付き、どう動くのかを考えることと、それができる体制をつくることです。学校から依頼されてプログラムを実施する際には、できればプログラムを作る段階から、ボランティアの意味も含めて、先生と一緒に考えていければいいと思います。こちらは、ノウハウはいろいろありますから、お手伝いできます。

子どもたちが自分なりの課題をもって進んで取り組み、何かできるのか考えてくれるような活動になればと思います。」

東京ボランティア・市民活動センター

〒162-0823 新宿区神楽河岸1-1 セントラルプラザ10階
TEL: 03-3235-1171 FAX: 03-3235-0050
URL: <http://www.tvac.or.jp/>

様々な分野で活躍されている
コーディネーター及び
団体の御紹介

日本ガーディアン・エンジェルスは、街頭パトロールのほか、毎年全国100校以上の小中高校において安全セミナーや防犯教室を実施しています。その他、PTAと連携して地域安全に取り組んだり、携帯電話やパソコンに関する安全講習なども実施したりしています。16歳以上ならばボランティアに参加することができ、高校生も活動しています。

体験活動についてのアドバイス

「具体的な活動としては、例えば高校生を連れて小中学校で防犯教室を実施したり、高校生が私たちや地域の人と一緒に小中学校を回って、パトロールをしたりすることも可能です。都内には6つの支部があります。声をかけていただければ喜んで協力します。こちらから何うのはもちろん構いませんし、パトロールやお祭りのサポート等の私どもの活動を見に来ていただいてもいいです。

その他、学校と一緒に、ボランティアグループを作って活動する等のプロジェクトを実施することも可能です。また、警察と連携して地域の安全に取

り組むこともできるのではないのでしょうか。地域の人材を積極的に活用することで、高校生の体験活動も広がりますし、社会性や公共性が育っていきます。」

地域安全活動に際して

「地域安全についての活動の際には、常に自分の考えを引き出し、考えさせ、活動に参加させるということを心がけています。体験活動を通して学校外の人と積極的に接して、自分の考えをもち、人のために汗を流す喜びを感じてほしいです。多くの人とかかわることで得るものは大きいはずですが。また、活動を通して、ルールやマナーを守る、人に迷惑をかけない、という基本的なことを大切にした上で、自分で判断できる応用力を身に付けてほしいです。」

特定非営利活動法人 日本ガーディアン・エンジェルス

中央区新川1-29-13 永代橋エコピアザビル地下1F
TEL: 03-3523-5300 FAX: 03-3523-5366
メール: info@guardianangels.or.jp
URL: <http://www.guardianangels.or.jp>

在住外国人支援や国際協力・交流活動の推進に取り組む武蔵野市国際交流協会では、2000年度から学校の教員向けに「教員ワークショップ」を実施しています。また、「むさしの国際交流まつり」や「青年のための国際理解講座」などの様々なイベント・講座を開催し、地域の国際理解推進にも取り組んでいます。

教員ワークショップ

「今年度は7月下旬に3日間の『夏期教員ワークショップ』を開催するとともに、通年で『教員ワークショップ・実践研究会』(月1回)を実施しています。地域に暮らす外国人や多くのNGOが参加しています。ワークショップでは、国際理解教育をテーマに、外国人やNGOと協働して、方法や素材、授業実践例、授業計画の検討を重ねています。実際にNGOと協働して授業を行った都立高校の先生もいます。

このワークショップを通して、協会とつながっているNGOや外国人と出会うことができます。交流していく中で、その人たちと一緒にどう授業をしたら、どのような内容に広がっていくかを考えていくことによって、授業の質が高まっていきます。青少年の体験活動を考える上でも生かせると思います。ポイントは、双方がお互いの

ねらいに基づき、一緒に授業をつくっていくことです。」

多数のボランティアが参加

「協会が主催し毎年開催している『むさしの国際交流まつり』には、今年もたくさんのボランティアが参加し、運営スタッフとして事前の打ち合わせや当日の会場整理まで、自分のできることに取り組んでくれました。高校生も参加しました。その他、協会で開催している講座にも、多くのボランティアが参加しサポートしてくれています。小学校から、大学、商店街、様々な団体等と一緒に、地域に密着した交流を推進しています。

今後も在住外国人支援や国際協力・交流の経験を地域に生かし、地域や学校の多文化化にこたえていくために、多様な視点と価値観を紹介する様々な取組を展開していこうと考えています。」

武蔵野市国際交流協会

〒180-0022 武蔵野市境2-14-1 スイグ9F
TEL: 0422-36-4511 FAX: 0422-36-4513
メール: mia@coral.ocn.ne.jp URL: <http://www.mia.gr.jp/>